

ごあいさつ



皆さまには、平素より足利小山信用金庫に格別のご支援、ご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

本年も、当金庫の経営状況などを取りまとめた、ディスクロージャー誌「足利小山信用金庫の現況2015」を作成いたしましたので、当金庫へのご理解を一層深めていただきたく、ご高覧いただければ幸甚でございます。

さて、当期の我が国の経済を顧みますと、政府による経済の好循環を目指す諸施策の進展により、円安・株高が進み、輸出型の大企業では業績の大幅な改善がみられましたが、昨年4月からの消費税増税後の駆け込み需要の反動や輸入物価の上昇、個人消費と設備投資の伸び悩み等により、内需依存型の中小企業では業績の改善は限定的であり、景況感に格差が生じております。

そうした中、12月には政府による地方への好循環拡大に向けた緊急経済対策が取りまとめられ、地方においても、景気が緩やかに回復する方策が実施されました。

しかしながら、当金庫を取り巻く地域経済環境は、従来からの高齢化や人口減少、空洞化といった構造的な問題が進展しており、中小企業においては、円安による原材料の高騰、コスト増の影響もあって、いまだ回復には至っていない状況であります。

このような情勢の下、当金庫は中期経営計画の最終年度として、①収益力の強化、②信用リスク管理の強化、③内部管理態勢の強化、④業務効率化の取組強化、⑤環境問題に関する行動の5つを経営課題として掲げ、期初より意欲的に取り組んでまいりました。

その結果、当期の収益状況につきましては、資金需要の低迷・金融機関間の競合激化、および市場金利の低下等により経営環境は厳しさを増しておりますが、資金運用力の強化および経営の効率化ならびに経費の節減に努め、当期純利益は2億1百万円となりました。

当金庫は、新たに平成27年度を初年度とする3カ年の中期経営計画を策定し、また、創立90周年にあたる平成27年度は、「安定した収益基盤の構築」と「お客さまに感動を与えられる金融機関」を目指していくことを基本方針として、①支援力・営業基盤の強化により、収益力の向上に繋げる、②内部管理態勢の強化、③組織力・人材力の強化、④つなぐ力・総合力の発揮、⑤環境問題に関する行動の5つを経営課題に掲げ、地域の発展に貢献して参る所存でございます。

皆さまには、今後とも一層のご支援、ご愛顧を賜りますよう心からお願い申し上げます。

平成27年6月

理事長

富田隆